

Goodbye nukes

6.7ストップ再稼働 福岡集会



集会後のパレード

6月7日、ストップ再稼働3万人集会が福岡で開催されました。当日は雨が心配されましたが曇り空で絶好の集会日和に。同仁会・友の会からは4人の参加で、全体では1万5千人が参加しました。集会後はパレードを行いました。

集会に参加して

今日はどんな集会になるのかと心をおどらせ会場の福岡市舞鶴公園に着きました。福島では今でも11万人の方々が避難生活をされていること、「福島を返せ」「元の生活を取り戻したい」と心に響く言葉の重さ。私達は幸いにも災害の少ないところで生活できる喜び。時には原発のごとく忘れそうなるしき。また川内原発をはじめ日本の原発を1基も動かすことはできないと、人々に思わせることが私たち民医連の使命だと心から思いました。私たちの大事な子ども、孫たちに辛い生活をさせない全員で確認をして集会は

終わりました。

集会後、デモ行進の出発です。舞鶴公園から九電のある通り天神駅までの間、横断幕を先頭に全員三列にならび大きな声で「子どもを守れ」「再稼働反対」などさげびながら全員元気に終えることができたことに感謝、達成感の喜びを味わいながら自然解散をしてそれぞれの町に帰っていききました。参加出来た喜びを持ち家路につきました。(向ヶ丘支部 岩崎 和美)

民の住む土地でウランの採掘作業を始めている。現地の人々は反対しているが、小さな声は聞き入れられない。私たち日本だけの問題ではないという話があり、川内原発の再稼働は地元九州だけでなく他国の人々をも巻き込み傷つけることになるのだと知りました。集会後のデモ行進では、シユプレヒコールが「原発、原発いらんばい!」「他の電気でよからうもん!」など九州のイントネーションで、いつもとは違った雰囲気の中楽しく行進することができました。日本のすべての原発が停止している今、川内原発の再稼働を許してしまつと、他の原発の再稼働にも追い風となつてしまいます。危険な原発を絶対に再稼働させないという声を広めていかなければならないと感じました。(経理課 植田 恒平)



5月上旬から国民健康

健診で早期発見、早期対応

保険(40~74歳)や後期高齢者保険(75歳以上)の府民・市民の皆様には「特定健診受診券」が届いていると思います。年に一度は必ず健診を受けてご自身の健康管理を行うことは大切です。健診

課では「特定健診」に関して月々土(午前中・祝除く)毎日健診を受けていただく事が出来ます。また予約なしでも当日健診を受けていただくことは可能です。しかしドック等で時間予約され

以上の堺市民の方で偶数年齢の方は予約のうえ是非ともご利用下さい(火・土は6階婦人科となります)。*木は対応しておりません。元気な方が大きな病気を見逃す方が多いと思われます。最近のデータで見ると今年3月に健診を受けられた方で大きな手術をされた方も数名おられる等、健診を受けることにより早期発見や早期対応に繋がることが会員の皆様も再確認していただき、一人でも多くの方が健診を受けてくださることをお願い致します。(組織健診課 安部)

第3回 転倒予防アドバイザー養成講座

転倒のリスクを減らし健康寿命を延ばそう

健康づくり委員会主催 第3回「転倒予防アドバイザー養成講座」が5月15日(第1課)、22日(第2課)の両日行われました。参加者の年齢層は40代~80代と幅広く受講のきっかけは「機関紙」とも「を見たい」という方が多くいらっしゃいました。第1課は「転倒予防の基礎知識と安全管理」で、アドバイスにあたっての注意点など基礎を学びました。第2課ではバランスや筋力などを評価する、開眼片足立ち・ファンクショナルリッチ・立ち上がりテスト・



トレーニング方法の実践講義



認定書を手に受講生のみなさん

移動歩行能力テスト・長座体前屈テストが行われました。評価表に基づき弱点の確認をした後は強化するためのトレーニング方法を教わり実践。最後は筆記試験を行い全員合格となりアドバイザーカードと認定書が授与されました。参加者からは「楽しく学べたことが一番良かった」「アドバイザーになれるよう努力したいです」など感想が出されました。今後も転倒のリスクを減らし健康寿命を延ばすアドバイザー養成講座に取り組みしていきたいと思えます。(健康づくり委員会 事務局)



自分の健康は自分で

南区茶山台

久松正昭(66歳)

定年退職して2年。自分の健康は自分で管理しなければなりません。今度、耳原で人間ドックを受けることになり、友の会割引に少しは助かりました。

大ショックという事も

西区鳳南町

野間多絵子(66歳)

検査は気軽に受けますが、悪い結果だったらと思うと怖くて大ショックという事もあるでしょう。

ハートマーク

感動しました

南区美木多上

山戸直子(62歳)

新病院お見舞いで寄せていただきました。きれいになっていてびっくり。玄関のハートマーク感動しました。皆様もお身体に気をつけて頑張ってくださいませ。

人々を癒すアートを

西区上

朝倉理沙(33歳)

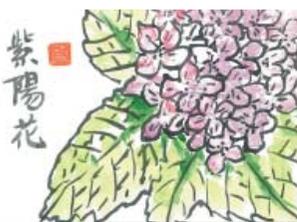
病院での絵画を楽しみにしています。人々を癒すアートをお願いします。

皆さんの気持ち

北区野遠町

並崎修子(65歳)

いつも「とも」を身近に感じております。お便り欄は皆さんの気持ちが伝わってきて好きです。



速水 英子

少しづらいますが

中区宮園町

太田志明(67歳)

久しぶりにリハビリを始めました。少しづらいますががんばると思っております。スタッフの方々に大変迷惑をかけるのがよろしく!

よりよい医療を

目指して

和泉市和気町

国田明子(68歳)

新病院完成おめでとうございます。これからも地域の人々の力になってよりよい医療をめざして下さい。



宮前 満子